



令和5年度第3号

江丹別通信

江丹別
嵐山
春日

江丹別まちづくり実行委員会から

江丹別まちづくり実行委員会では、今年度、次の事業を進めていくことにしております。

○「ぐるっと江丹別魅力満載マップ」の改訂

令和4年11月に改訂した「ぐるっと江丹別魅力満載マップ」の情報を更新して作成。

作成部数3,000部、令和6年3月頃完成（予定）



○ 江丹別の魅力PRパネルの展示



A1版サイズのパネルを、パークランド嵐山、まちなか交流館（他の展示のない時期）で展示。A3版サイズのパネルを、嵐山中央会館、嵐山小中学校、若者の郷（若者センター、グリーンセンター）、廃棄物処分場、春日青少年の家で展示。

○ インターネットを活用した地域PR

ホームページ「江丹別（そばとチーズのえたんべつ）」を継続して開設。



○ 江丹別通信の発行

年4回発行予定。（A3版、両面カラー、各戸配布）

○ 江丹別地域案内マップ（チラシ）の作成（令和5年度新規）

江丹別地域の各施設の詳細な情報が載っているホームページに誘導するQRコード等を掲載した江丹別地域案内マップ（チラシ）を作成。なお、データ作成から印刷まで実行委員会で行い、随時、変更や増刷に対応できるようにする予定です。（A3版、片面カラー、2つ折り、上質紙）

作成部数3,000部、令和6年3月頃完成（予定）

江丹別公民館から

江丹別公民館作品展示が開催されました！

11月13日～17日に、江丹別公民館作品展示を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

作品展示では、百寿大学の作品、地域の方々の陶芸作品、江丹別保育所園児の作品、夫夢婦夢クラブの活動写真、リボン会の手芸作品等の展示が行われました。

展示に作品等をご提供の皆さま、ご来場の皆さまありがとうございました。



発行元 江丹別まちづくり実行委員会

旭川市江丹別町中央 旭川市江丹別支所内

Tel 0166-73-2001 Fax 0166-73-2055

ホームページ「江丹別（そばとチーズのえたんべつ）」

URL→<http://etanbetsu.com/blog/>

QRコードは右のとおりです。



江丹別地区市民委員会から

11月18日(土)、江丹別公民館多目的ホールにて、役員会が開かれましたので、一部を報告します。

1 救急講習開催

9月20日に、旭川市消防本部指令課職員の指導により、3時間の普通救命講習が行われ、13名の参加者が、AEDの使用法、心肺蘇生法、その他の救急処置法を学びました。



2 現在稼働中の旭川市廃棄物処分場(芳野)の放流水の自主基準値見直しについて

現処分場から発生する浸出水を、様々なフィルターを通して安全な放流水として芳野川に放流していますが、この放流水の汚染度を数値で表す(令和4年11月改訂版)のが基準値です。現処分場は計画当初から国の定める法定基準値より厳しい自主基準値を定めています。

現処分場の環境対策協議会において、現在は自主基準値をクリアするほどの安全管理がされているので法定基準値にしても良いのではないかとの意見が出ましたが、市民委員会として、当初の約束事として自主基準値が設定されたことにより、見直しをするべきではない、との一致をみました。



冬道となり運転は慎重に!

冬になると、積雪や路面の凍結、走行可能な道幅が狭まったり、路肩や道路標示が見えなくなるなどの道路状況の変化のほか、吹雪、強風による地面の雪の巻き上げや、対向車線や前を走るトラック等が巻き上げる雪での視野の制限などがあり、夏に比べ、気を付けることが多くなります。今一度、冬道での安全な運転について考え、事故のないよう慎重な運転を心掛けましょう。

【スピードダウン】

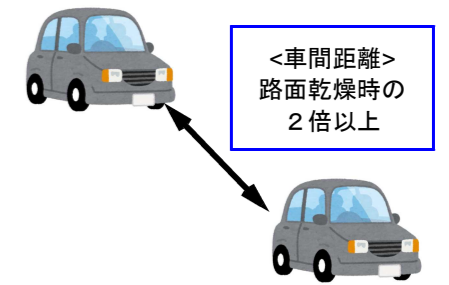
凍結や圧雪路面では、路面乾燥時よりもグリップ力(地面をつかむ力)が低下し、さらにスピードを出すことでより一層低下するため、非常に滑りやすくなり、追突事故や路外への逸脱事故の可能性が高まります。

安全なスピードで走り、赤信号等で止まるときには早めの減速で、ゆとりを持ってスピードを落とすことを心掛けましょう。



【車間距離を多めにとりましょう。】

車間距離は、路面乾燥時の2倍以上確保するようにしましょう。前の車との距離を保っておくことで、何か突発的なことが起こったときに対応する時間を持つことができます。



【”急”のつく運転は避けましょう。】

急ブレーキ、急アクセル、急ハンドル、急な車線変更など、”急”のつく運転は避け、慎重な運転を心掛けましょう。

凍結や圧雪路面での急ブレーキは、摩擦熱によるタイヤとの間により多くの水滴ができ、滑りやすくなるほか、急アクセルではホイールスピンが、急ハンドルや急な車線変更では車のスピンが起こることが考えられます。



《スリップ等への注意が必要なところ》

⚠️ 曲がり道(カーブ)

遠心力で車は外へ外へと流れやすくなり、タイヤの横滑りが生じるほか、その横滑りによって路面がさらに滑りやすくなったりするほか、曲がった先からの対向車が見えない、見えづらいところも多くあります。

⚠️ 日陰部分

木々や建物、地形によって日陰となっている路面は凍結している可能性が高く、また雪も溶けずに残っている可能性が高いところになります。



⚠️ 橋の上

橋は上下から冷やされるため、橋の上の道路は凍って、アイスバーンになっていることもあります。

⚠️ 交差点とその周辺

交差点とその周辺はタイヤで磨かれ滑りやすくなっていることが多くあり、信号や交差点の状況を把握し、早め早めのブレーキ操作を心掛ける必要があります。また、交差点付近の道路脇に雪山があるところでは、その陰から人や車が出てくるかもしれないとの予測運転が必要になります。



⚠️ トンネルの出入口

出入口付近は日陰になっていることが多いので、路面が凍っていることが多くあるほか、トンネル内が暗く目が慣れるまで先の状況が見えにくく、路面状況の変化を予測した適確な判断と操作が必要になります。

⚠️ この他、わだちや高架道路などでも注意が必要です。